

DNS Update ～ドメイン名関連～

2012年11月21日

Internet Week 2012 DNSDAY

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

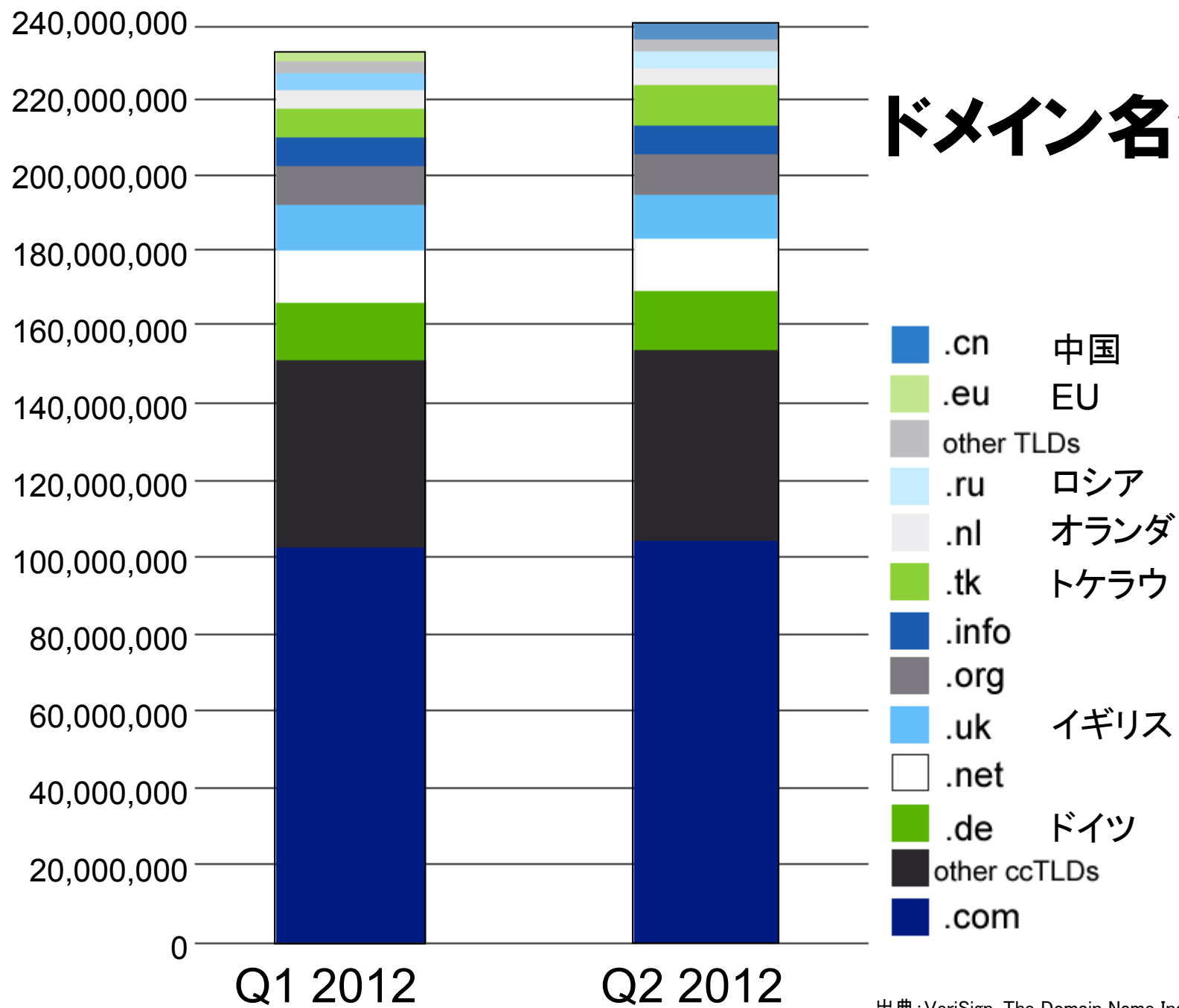
宇井 隆晴

目次

- TLDのグローバル動向
 - ドメイン名登録数
 - TLDトピックス
- その他いろいろな話題

TLDDのグローバル動向

ドメイン名登録数



出典: VeriSign, The Domain Name Industry Brief -October 2012

TLDトピックス

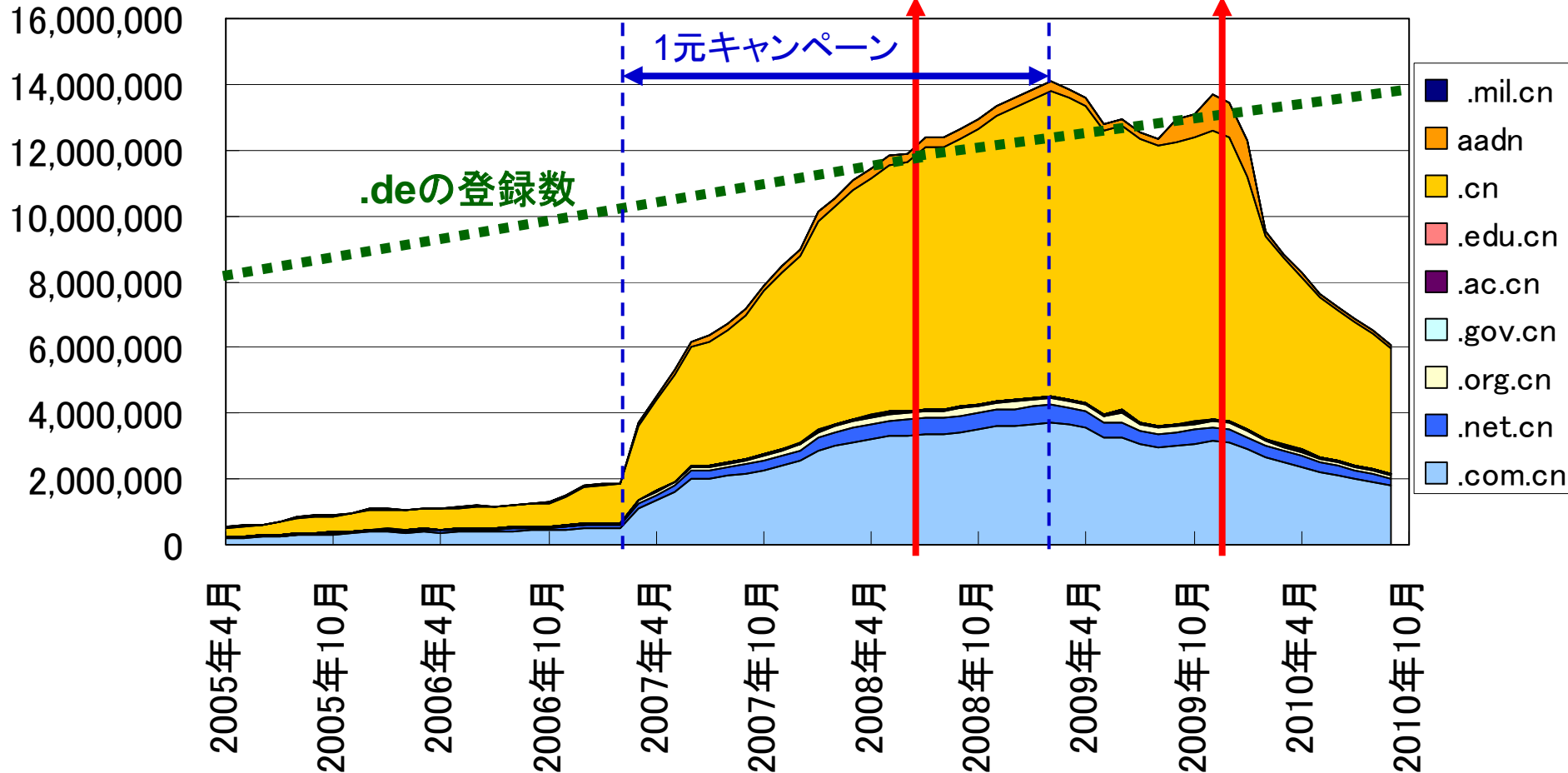
- 4つのTLDが追加
 - 「.қ a 3」(カザフスタン:キリル文字) .xn--80ao21a
 - 「.مليسيا」(マレーシア:ジャウィ文字) .xn--mgbx4cd0ab
 - 「.М O Н」(モンゴル:キリル文字) .xn--l1acc
 - 「.post」
- 全TLDで、約2億4,000万件(+2,500万件/年)
 - .comが1億件に到達
 - 最多ccTLDは「.de(ドイツ)」で約1,520万件
- 「.cn(中国)」が再び増加傾向
- 「.tk(トケラウ)」が急増
 - 2012年11月11日現在、1,350万件

.cnの登録数(～2010)

Internet Week 2010
DNS DAYの資料より

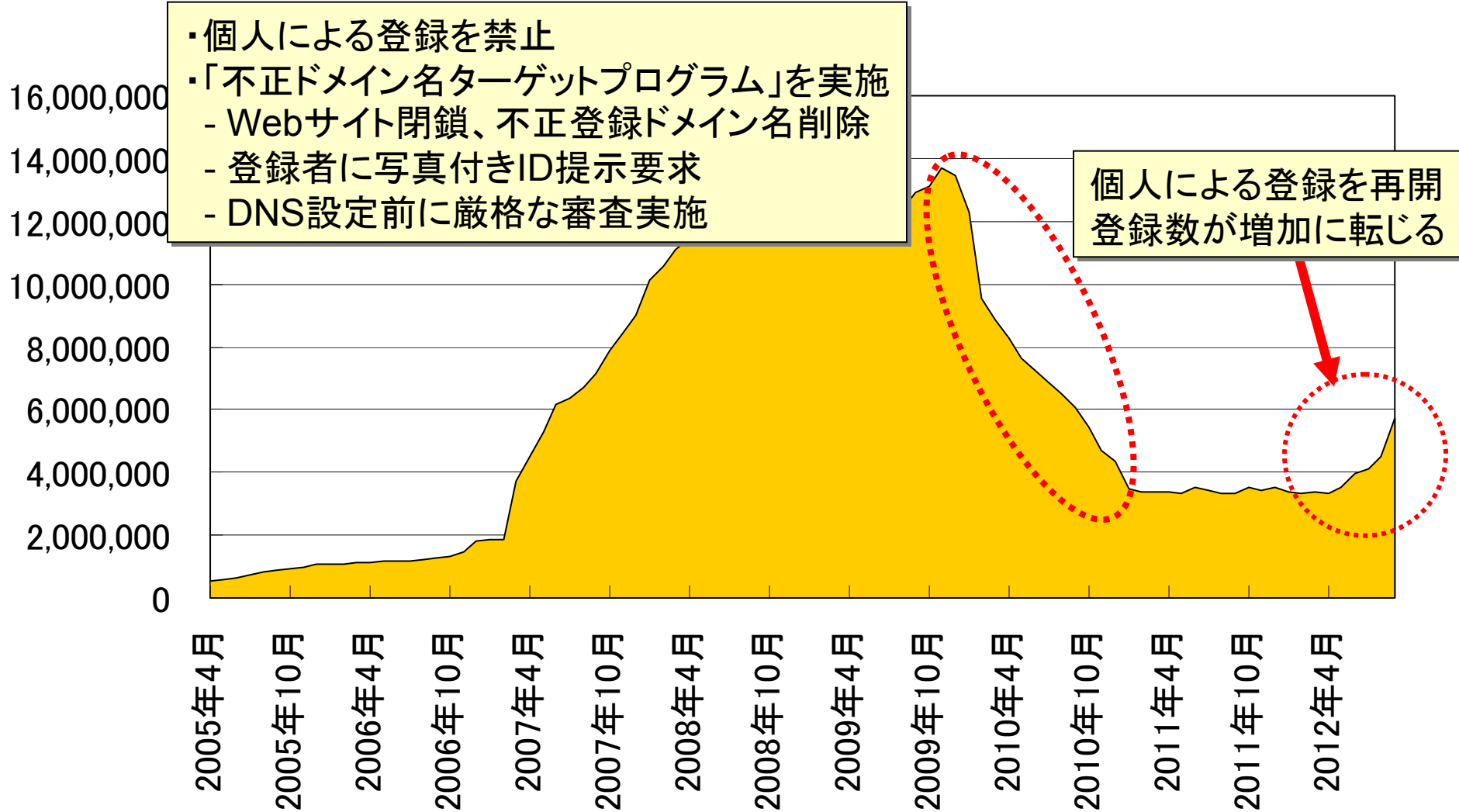
2008/07
.cnが.deを抜いて
世界一多いccTLDに

2009/12
.cnの登録審査
厳格化



CNNIC <<http://www.cnnic.net.cn/html/Dir/2003/12/13/2020.htm>>
DENIC <<http://www.denic.de/en/background/statistics.html>> より作成

.cnの登録数



- ・個人による登録を禁止
- ・「不正ドメイン名ターゲットプログラム」を実施
 - Webサイト閉鎖、不正登録ドメイン名削除
 - 登録者に写真付きID提示要求
 - DNS設定前に厳格な審査実施

個人による登録を再開
登録数が増加に転じる

.tk急増の理由

- .tkは外貨獲得の手段
 - Tokelau Internet Project
 - .tvや.ccなどと同様、海外に開放
- .tkは無料でも使用可能
 - 「無料ドメインを保有しても、お客様には法的な登録者の権利は与えられません。」(www.dot.tk)
 - 「無料ドメイン名の利用者情報は保護されていますので、無料ドメインの個人情報表示されません。」(www.dot.tk)
 - 「お客様の登録は～90日間で25人以上ビジターがない場合にキャンセルされます。」(www.dot.tk)
 - 以前は広告表示があったが、なくなった模様。
- Googleの「.co.cc」排除(2011/07)が影響？

TLD別危険度ランキング(2010年)

高リスク ■ ■ ■ ■ ■ ■ 低リスク

出典: McAfee, 危険なWebサイトの世界分布 2010

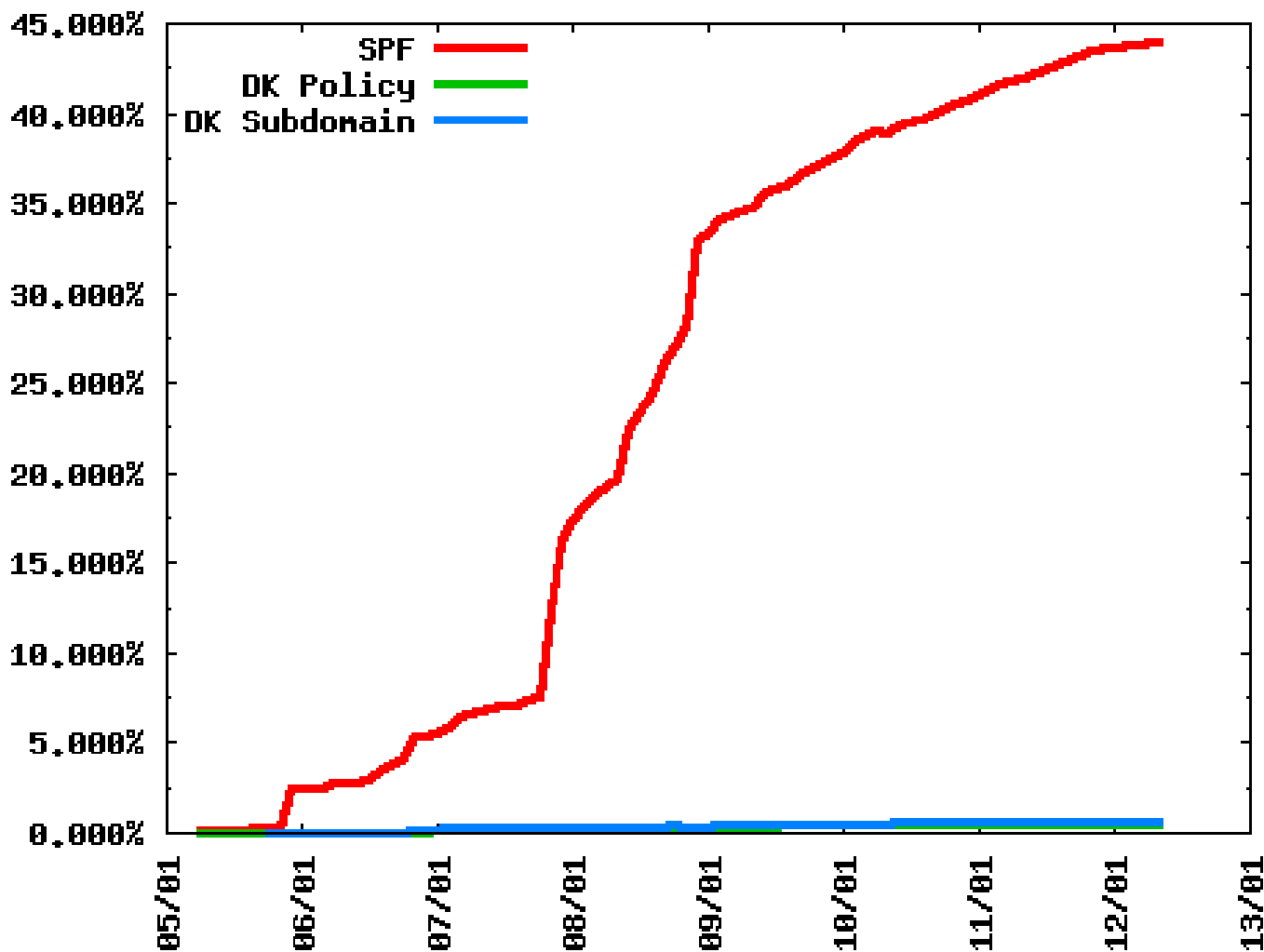
国または名前	地域	TLD	2010年 世界リスク ランキング	2010年 加重リスク 比率	2010年 無加重リスク 比率	2009年 世界リスク ランキング	2009年 加重リスク 比率	加重リスクの 年成長率	追跡ドメイン の総数	リスクの高いドメイン の総数
商用	ジェネリック	COM	1	31.3%	6.1%	2	32.2%	-2.8% ↓	15,530,183	948,995
情報	ジェネリック	INFO	2	30.7%	46.6%	5	15.8%	94.5% ↑	533,711	248,806
ベトナム	APAC	VN	3	29.4%	58.0%	39	0.9%	3,107.9% ↑	24,988	14,492
カメルーン	EMEA	CM	4	22.2%	44.2%	1	36.7%	-39.5% ↓	3,947	1,746
アルメニア	EMEA	AM	5	12.1%	24.2%	23	2.0%	512.9% ↑	3,145	760
ココス (キーリング)諸島	APAC	CC	6	10.5%	20.2%	14	3.3%	215.4% ↑	58,713	11,869
アジア太平洋	ジェネリック	ASIA	7	10.3%	20.6%	N/A	N/A	N/A	3,122	642
ネットワーク	ジェネリック	NET	8	10.1%	10.5%	7	5.8%	73.7% ↑	1,556,813	163,466
ロシア	EMEA	RU	9	10.1%	16.8%	9	4.6%	116.7% ↑	329,136	55,373
西サモア	APAC	WS	10	8.6%	16.9%	4	17.8%	-51.8% ↓	22,070	3,734
トケラウ	APAC	TK	11	8.4%	15.9%	19	2.3%	262.0% ↑	91,876	14,630
非営利団体	ジェネリック	ORG	12	6.4%	7.4%	11	4.2%	50.3% ↑	1,224,870	90,290
ビジネス	ジェネリック	BIZ	13	6.3%	11.8%	13	3.6%	74.3% ↑	121,622	14,350
アメリカ 合衆国	Americas	US	14	6.0%	11.2%	17	3.1%	95.7% ↑	119,861	13,365
中国	APAC	CN	15	4.8%	8.3%	3	23.4%	-79.5% ↓	261,298	21,711
以前のドメイン										

その他いろいろな話題

今年もいろいろありました

- ghost domain names (幽霊ドメイン名)
- DNS Changer
 - 感染者救済用にFBIが運用していたキャッシュDNSサーバーが2012年7月9日に停止
- 共用DNSサービスにおける運用上の問題
- 送信ドメイン認証
 - NISCがgo.jpの97%がSPFに対応と発表
- いろいろなところでDNSSECの運用ミス
 - NASA、VeriSign、.nl (SIDN)、etc...
- .ie (アイルランド) のレジストリクラック事件

.jpにおけるSPF/DKIMの設定率



出典: <<http://member.wide.ad.jp/wg/antispam/stats/index.html>>

DNSSECの運用は大変か

- 自動化環境は整備されつつある
 - BIND 9(スマート署名、インライン署名)
 - OpenDNSSEC(オープンソースの運用支援ツール)
 - AtomiaDNS(BIND 9、PowerDNSに対応したDNSSEC運用自動化ツール)
- DNSSECの運用に失敗すると誰が困るか
 - ドメイン名を運用する人？
 - ドメイン名を利用する人？
 - ◎利用者からの「繋がらない」というクレームを受けるISP

10/11 とあるブログにて

**Google.ieとYahoo.ieがハイジャックされた？
レジストリがクラックされた？**

<<http://www.geekpage.jp/blog/?id=2012/10/11/1>>

どうやら、そのようです。

発生した事象

- 2012年10月9日に「yahoo.ie」と「google.ie」のNSが不正に書き換えられた。トラフィックハイジャック先はインドネシアのデータセンター。
- IEDR(.ieのレジストリ)による調査の結果、同社の公開用Webサーバーに侵入された痕跡を発見。調査が完了し安全が確認されるまで、一般向けWebサービスを停止すると発表。
- これにより10月10日から、Web WHOISと、レジストラを経由しない直接登録サービスがダウン。
- サービス再開は10月29日、停止期間は20日間。
- レジストラ経由の登録(同社によると全体の90%以上)、port43 WHOISには影響がなかったとのこと。

IEDRによる発表(11/09付)

- 公開用Webサイトのコンテンツ作成に使っていたオープンソースCMS「Joomla!」の脆弱性を突かれた。
- この脆弱性のため、当該公開用Webサーバーが任意のプログラムを外部からアップロード可能な状態に。攻撃者はこれを利用し、内部のレジストリDBを書き換えるプログラムをアップロード、google.ieとyahoo.ieのNSを不正に書き換えたことが判明。
- IEDRではWebサーバーを新たに準備し、既知の脆弱性がないことを確認した上で、コンテンツを移してサービスを再開。

IEDR Statement

<http://www.iedr.ie/docs/IEDR_Statement_F_issued_9_November_2012.pdf>